

問1 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

1. えきの先（えきだめ） 2. ひもをつけるあな 3. ガラスのつつ 4. めもりの数字

問2 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

1. ななめ下から見上げる 2. ななめ上から見おろす 3. 直角（真横）にする 4. うしろからすかして見る

問3 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

1. 温度計の一番上 2. 温度計の一番下 3. えきの先 4. 液がたまっている丸い部分

問4 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

1. かげの形 2. かげの動き 3. かげの長さ 4. かげの濃さ

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

1. まわりの温度が急に下がったとき 2. 日光をさえぎるものがあるとき 3. 太陽の光がすべて消えてしまったとき 4. 日光がさえぎられずに通りぬけるとき

問6 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

1. 北から南 2. 西から東 3. 南から北 4. 東から西

問7 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

1. かげ 2. かげ 3. あかり 4. ひなた

問8 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

1. 北 2. 西 3. 南 4. 東

問9 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

1. 太陽が動くから 2. 風がふくから 3. 地面が動くから 4. 雲が動くから

問10 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

1. 高いところを通る 2. 高さが変わらない 3. 低いところを通る 4. 地面の近くを通る

問11 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

1. 日食 2. 日なた 3. 日かげ 4. タヤけ

問12 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

1. 方角を調べるとき 2. 太陽の動きや形を観察するとき 3. かげの長さを調べるとき 4. 日なたと日かげの温度を比べるとき

問13 日かげの地面のようすについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. つめたくて、少ししめっている。 2. あたたかくて、かわいている。 3. つめたくて、かわいている。 4. あたたかくて、少ししめっている。

問14 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

1. 風が強い 2. 暗い 3. あたたかい 4. つめたい

問15 同じ場所に立っているいくつかのものに太陽の光が当たるとき、できるかげの向きについて正しいものはどれですか。

1. どれも同じ向きにできる。 2. ものの形によってちがう向きにできる。 3. ものの色によってちがう向きにできる。 4. ものの大きさによってちがう向きにできる。

問16 温度計を使って空気のあたたかさをはかったとき、温度の表し方として正しいものはどれですか。

1. 20 cm 2. 20℃ 3. 20秒 4. 20 g